

日本建国神話を格調高く描いた大作、交声曲「海道東征」が北海道へ！

「海ゆかば」や歌曲集「沙良」などの名曲を数多く遺した信時潔。昭和音楽史の礎を築いたこの作曲家の大作「海道東征」は北原白秋の作詩により1940年「皇紀2600年奉祝行事」の祝典のため書かれました。神武天皇の「東征」を題材にした、全8章からなるこの作品は、大阪、東京で公演が開催され大好評を博しました。満を持しての北海道公演を令和元年の札幌で開催いたします。

交声曲「海道東征」

- 第1章 たちほ 高千穂 神武天皇の東征決意 笙など雅楽風の調べが西洋楽器で奏でられる
- 第2章 やまとしほ 大和思慕 大和への憧れ ヤマトタケルの「思国歌」を引用
- 第3章 みふなで 御船出 日向・美津港からの出帆 東征の始まり
- 第4章 みふなうた 御船謡 旅の安寧への祈り 掛け声と共に船謡調の掛け合い
- 第5章 はやすい 速吸と菟狭 古の物語と、民の歓待を歌う
- 第6章 かいどうかいこ 海道回顧 東への長き旅路
- 第7章 しらかたのつじょうりく 白肩津上陸 河内の国 白肩野津への上陸 豪族・長髄彦との戦闘
- 第8章 てんぎょうかいこう 天業恢弘 大和で即位した神武天皇の偉業と日本の建国を讃える

出演者プロフィール

山下一史 (やました かずふみ) 指揮 Kazufumi Yamashita, Conductor

桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。以後ヨーロッパでの実績を重ね、ヘルシンボリ響首席客演指揮者を務めた。日本国内ではN響を指揮してデビュー、以後主要オーケストラに定期的に出演、好評を得ている。これまでにアンサンブル金沢プリンスパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者ならびに同団名誉指揮者、仙台フィル指揮者ならびに同団正指揮者を歴任。2016年4月より千葉交響楽団音楽監督に就任し、オーケストラ、オペラの両面におけますます注目を浴びている。東京藝術大学音楽学部指揮科教授。

幸田浩子 (こうだ ひろこ) ソプラノ Hiroko Kouda, Soprano

東京藝術大学首席卒業。同大学院、オペラ研究所を経て渡伊。数々の国際コンクールに上位入賞後、欧州の主要歌劇場へ次々とデビュー。ローマ歌劇場、シュトゥットガルト州立劇場等で活躍し、名門ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約。帰国後はオペラ出演の他、主要オーケストラとの共演や全国各地でのリサイタル、またNHK「気ままにクラシック」のパーソナリティやBSフジ「レシピア」のMCなど多彩な活動を展開。2018年12月CDデビュー10周年を記念した《ARIA 花から花へ〜オペラ・アリア名曲集》をリリース。第14回五島記念文化賞オペラ新人賞、第38回エクソンモービル音楽奨励賞受賞。第3代クルーズアンバサダー(クルーズ振興大使)。二期会会員

盛田麻央 (もりた まお) ソプラノ Mao Morita, Soprano

国立音楽大学卒業、同大学院修了。パリ・エコールノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院修士課程を最優秀で修了。第17回日仏声楽コンクール第1位および竹村賞。第12回東京音楽コンクール声楽部門第2位受賞。二期会創立60周年記念『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナで好評を博す。小澤征爾音楽塾「子どもと魔法」羊飼いの娘／ふくろう、二期会『フィガロの結婚』バルバリーナ、首都オペラ『トゥーランドット』リュウ、2017年日生劇場『ルサルカ』森の精に続き、2018年『魔笛』童子に出演。コンサートでも、「メサイア」や「第九」、モーツァルト「レクイエム」等で活躍するほか、「NHKニューイヤー・オペラコンサート」にも出演している。二期会会員

田村由貴絵 (たむら ゆきえ) メゾソプラノ Yukie Tamura, Mezzosoprano

お茶の水女子大学、東京藝術大学卒業。同大学院修了。2005年二期会ニューウェーブ・オペラ『ジュリアス・シーザー』タイトルロール、2006年『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツァ、新国立劇場『ワルキューレ』ロスヴァイセ、『神々の黄昏』フロスヒルデ、佐渡裕プロデュースオペラ『カルメン』メルセデス等、いずれも好評を博す。2008年東京二期会『エフゲニー・オネーギン』オルガ、2011年『サロメ』小姓では世界的な演出家ペーター・コンヴィチユニーから信頼を得る。2018年上海交響楽団『サロメ』(C.デュワ指揮)にも出演。コンサートでは「第九」、パッハ「口短調ミサ」「ヨハネ受難曲」、「メサイア」などのアルトソロとしても高い評価を得ている。二期会会員

小原啓楼 (おはら けいろう) テノール Keiro Ohara, Tenor

東京藝術大学卒業、卒業時に松田トシ賞受賞。同大学院博士課程修了、博士号取得。これまで二期会『蝶々夫人』ピンカートンのほか、新国立劇場『沈黙』ロドリゴが絶賛され、再演にも出演。ロームシアター京都オープニング公演『フィデリオ』フロレスタン、二期会『ローエングリン』タイトルロール等、重厚な役でも好評を得ている。今年2月『夕鶴』ロシア公演では与ひょうを演じ、大きな喝采を浴びた。コンサートでも「第九」をはじめ「大地の歌」「戦争レクイエム」等、古典から近現代まで多岐にわたり活躍。2013年には東京国体開会式にて当時の天皇・皇后両陛下(現上皇・上皇后陛下)御臨席のもと国歌独唱、全国に生中継された。二期会会員

原田圭 (はらだ けい) バリトン Kei Harada, Bariton

東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了、博士号取得。在学中に安宅賞受賞。第16回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、中田喜直賞受賞。第77回日本音楽コンクール入選。オペラでは、2010年東京二期会『魔笛』、2011年同『フィガロの結婚』、日生劇場『夕鶴』、2012年東京フィル『アルファとオメガ』(ショハット作曲・日本初演)、日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』等に出演。2014年1都8県10公演、2016年1都9県11公演に及ぶ『夕鶴』で運ずを演じ、好評を得る。2018年東京二期会『三部作』に出演。コンサートでは「マイ受難曲」、デュリュフレ「レクイエム」のほか、プラハ国立歌劇場特別演奏会のモーツァルト「レクイエム」でソリストをつとめた。二期会会員

札幌交響楽団 Sapporo Symphony Orchestra

札幌交響楽団は、1961年発足。北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれる。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、国内はもとより海外でも評価が高い。歴代指揮者には、名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマーなどが務めた。現在、首席指揮者のマティアス・バーメルト、名誉音楽監督の尾高忠明、名誉指揮者のラドミル・エリシュカ、友情客演指揮者の広上淳一、指揮者として松本宗利音を擁する。年間公演数は約120回、さらにアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。海外ではヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国を訪問し、各国で好評を博した。

札幌合唱団 Sapporo Symphony Chorus

2006年に札幌交響楽団創立45周年を記念して創設された札幌専属の合唱団。同年末「札幌の第9」で演奏会デビューを果たす。これまで札幌定期演奏会に毎年出演し、「復活」「ピーター・グライツ」「戦争レクイエム」「カルミナ・ブラーナ」「スターバト・マーテル」「ミサ・ソレムニス」「讃歌」「クリスマス・オラトリオ」の他、デュリュフレ・ヴェルディ・モーツァルト・フォーレの「レクイエム」等を演奏。加えて「アキラさんの大発見コンサート」「石狩川治水記念コンサート」「グリーンコンサート」、エッシェンバッハ指揮PMF「復活」等で活動を拡げてきた。2019年は9月と10月の定期演奏会、12月の第9に出演予定。現在75名が在籍、指揮者・長内勲、指導者・大嶋恵人、中原聡章。

新アカデミー合唱団 New Academy Chorus

前身の札幌アカデミー合唱団の創立者・常任指揮者であった故永井征男氏の後を受け、指揮者に鎌倉亮太氏を迎え新アカデミー合唱団として2016年1月に発足。同年7月札幌市教育文化会館大ホールでコンサート1を、以降毎年春にコンサートを行なっている。今年5月に札幌コンサートホールキタラ大ホールでコンサート4を行なった。他団体の主催コンサートにも積極的参加し、2017年には北海道教育大学岩見沢校音楽科YHPオーケストラ、東京のアマチュア交響楽団俊友会の「第九演奏会」に出演、今年7月にはPMF「マラー；千人交響曲」にも出演した。また、道内のオペラ公演「ホフマン物語」「椿姫」にも多くの団員が出演している。

